

**一般社団法人 日本医学物理学会**  
**平成 25 (2013) 年度 第 1 回理事会議事録 (抄)**

日時:平成 25(2013)年 4 月 11 日(木) 12:00—16:00

場所:パシフィコ横浜 会議センター 421 号室

出席者:遠藤・松本・新保・櫻井・荒木・小口・奥村・齋藤・榮・西尾・福田・門前(理事)、金井・福村(監事)

参会者:和田・蓑原・赤羽・尾川(委員長)、豊福・福士(大会長)、乳井(総務委員)

議題:

1. 前回議事録の確認
2. 新入会員・退会者の承認(決議)
3. 平成 24 年度事業報告案の承認(決議)
4. 平成 24 年度決算報告の承認(決議)
5. 研究課題援助の継続審査(決議)
6. 研究課題援助の新規募集について
7. 第 105、106、107 回 大会の準備状況について
8. ホームページリニューアルの進捗状況について
9. 「医学物理」発刊の状況
10. 委員会報告(2012 年度報告は総会議案書に一括)
11. 医学物理士認定機構の現状について
12. 総会議案書の確認
13. その他

資料:議案書冊子、総会議案書

席上配布:資料 7(106 回大会資料 2 点)、「会誌サプルメントご提供のお願い」

## 議事

出席者・参会者、定足数確認の後、会長が議長に就いた。議事に先立ち、会長より目下推進中の「医学物理」誌バックナンバーの合本・製本を完全にするため、数点の号の供出の依頼がなされた。然る後議長が開会を宣言し議事に入った。

### 1. 前回(第7回)の議事録(案)の確認

資料1に基づき前回理事会(3月2日)の議事録案を通読・確認し、原案通り承認した。

### 2. 新入会員・退会者の承認

資料2に基づき、庶務理事より3月2日-31日の入退会・資格変更が報告された。審議の結果、原案通り承認した。これにより3月末時点の会員総数は2,015名となった。

### 3. 平成24年度事業報告案の承認

資料3に基づき、庶務理事より提案がなされた。審議の結果、原案通り承認した。

### 4. 平成24年度決算報告の承認

資料4に基づき、会計幹事より報告が、監事より監査報告がなされた。慎重審議の結果、原案通り承認した。

### 5. 研究課題援助の継続審査

資料5(理事には事前配信)に基づき、庶務理事より平成24年度実施研究課題援助(2件)の報告および継続申請について審議した。審議の結果、2件とも継続を認めるものの、提出された報告書については意見付で承認した。両代表者には庶務理事から連絡することとした。

### 6. 研究課題援助の新規募集について

資料6に基づき、庶務理事より本年度に研究課題援助を募集すること、またその募集告示案が提案された。本件につき審議の結果、原案通り承認し、大会終了後早速募集を開始すべきこととした。

### 7. 第105、106、107回 大会の準備状況について

#### <105回大会>

105回大会長より口頭で、本日無事に開幕したことが謝辞とともに報告された。これに対して会長より大会長・実行委員会の尽力に対する謝意が表された。

教育講演・ランチョンセミナーの収録およびe-learning化について収録・会員向け配信を予定している。この扱いについては教育委員会に委ねたい旨、発言があった。来年度以降について、教育委員会で対応を引き継ぐこととした。また、大会終了後にプログラムおよび大会報文集を全て英語にしたことに関するメリットおよびデメリットについて取り纏めをお願いすることとなった。

#### <106回大会>

資料7に基づき、106回大会長より準備状況が報告された。英語発表についてのポリシーについての質問に

対して、大会長より格別に打ち出すことはせず、発表は英語でも可とするという基本姿勢が示された。また、106 回大会では英語の教育セッションを行なう予定である。

#### <107 回大会>

107 回大会長より、ポスターが紹介され、準備状況が報告された。また、現在 JSRT と共にサッカー協会とのコラボレーションを企画中との報告があった。

#### <108 回大会>

日韓合同大会として 2014 年 9 月 25-27 日に韓国・プサンで開催する。その他については、目下調整中の旨が国際交流委員長よりコメントされた。

#### <109 回大会>

前回理事会を承け、会長より第 109 回大会の大会長の推薦提案がなされた。議論の結果満場一致でこれを承認した。被選人からは、理事会の推輓を得て受諾する旨の表明がなされた。

### 8. ホームページリニューアルの進捗状況

広報委員長の指示により、事務局が現況を投影し、進捗の報告がなされた。これにより、理事会メンバー・広報委員による内閣を行い、5 月連休明けまでに意見を集約して 5 月 13 日(月)にオープンすべきこととした。また、英語ページについては、今年 1 年をかけて他の学会(JASTRO 等)のホームページを参考にしながら作成する予定である。

### 9. 「医学物理」発刊の状況

編集委員長より口頭で、Vol.32, No.3 はつくば大会の特集号となり、刊行が大会後となる見込が、また次々号辺りから“粒子線加速器”の連載(5 回を予定)を開始する見込であること等、編集・刊行状況が報告された。

### 10. 委員会報告について

各委員会の 2012 年度活動報告は総会議案書に含めており、これにつき会長から、総会時に各委員長に登壇・報告することが依頼された。

### 11. 医学物理士認定機構の現状について

JBMP 理事を兼ねる理事より、同機構が理事交代の過程にあり、4 月 27 日(土)の理事会で引継ぎを行うことが紹介された。

会長より、次回理事会辺りでまとめた状況報告を希望する旨表明があった。

### 12. 総会議案書の確認

配布の議案書を通読し、一部補完の上で本資料を総会議案書として上程することとした。なお第 3 号議案の会費改訂の件の採決について、挙手によるべきかが会長から諮られた。これについて議論の結果、採決に至るまでの議論の状況により議長が適宜計らうべきこととした。

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 16:00 に閉会を宣言して散会した。